

ほんとに大丈夫？

間違いだらけのリフォーム工事

= 結露対策の巻 =

この季節、お部屋の悩みの1つが結露ではないでしょうか？

結露対策というによく行われているのが、壁に断熱材を入れて、窓を二重サッシやペアガラスにする方法ですが、それだけでほんとうに大丈夫でしょうか？

『だって、ガラスの水滴がずいぶん減ったよ』

見た目はたしかにそうかも知れませんが、でもお部屋の空気の状態が昔のままだと、別の場所で結露が起きている可能性があります。

なぜなら、窓ガラスは除湿器としてお部屋の余分な水分をとってくれていたと考えることもできるからです。窓ガラスに結露しなくなった分、どこか他の場所で結露が起こるようになってしまったかも知れません。

壁の断熱材にしても、きちんと防湿層を設けていないと湿気は通りぬけて、壁中で結露が起きてしまいます。目に見えない所の結露はなかなか乾かないので、かえってお部屋のダメージを大きくしてしまいます。

『じゃあどうすればいいの？』

お部屋の空気環境を考慮したリフォームをしましょう。

室内空気の温熱や気流解折をして適切な空気の通い道をつくり、湿度をコントロールします。お部屋のリフォームのついでにやっと思えば大した工事ではありません。

『でも空気は目に見えないから……。』

キャプテンでは、お客様が実際に体験してわかっていただけるように、空気環境専用のモデルルームをご用意しています。どうして結露するのか、なぜこれではダメなのかよくご理解いただけたと思います。

現在結露でお悩みの方をはじめ、リフォームを計画中の方で結露やカビの心配のないお部屋の設計をご希望の方は一度ご相談ください。

快適な室内空気環境の提案をさせていただきます。



無料小冊子進呈中

失敗しないリフォームのために、リフォームの前に読むと、とても効果的！

行列のできるリフォーム屋さん



私達はしっかり勉強しています